

2009 年 12 月 21 日緊急臨時号

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 1 F 電話 03-6809-1091・F A X 1093

12 月 18 日、「介護保険を持続・発展させる 1000 万人の輪」樋口恵子代表、厚生労働省に「介護職員待遇改善交付金」および「緊急雇用対策」について要望書を提出！！

12 月 18 日(金)午前 11 時 30 分、「介護保険を持続・発展させる 1000 万人の輪」は樋口恵子代表が厚生労働省老健局長室に宮島局長を訪ね、「介護職員待遇改善交付金」および「緊急雇用対策」について【要望書】を提出しました。

提出後の会談で、樋口代表より「介護 1000 万人の輪が来年 3 月までに、制度改定や報酬見直しについて提案書を提出する予定である」ことが伝えられ、宮島局長からは「2012 年の改定に向けて来年 1 年間十分に検討し、再来年の国会に諮る日程となるであろう」との見通しが述べられました。

今後市民協は「介護 1000 万人の輪」の活動と連携を続けつつ、独自に介護保険制度にとどまらずインフォーマル・サービスについても具体的な内容を含んだ提案書を提示し、相乗効果を図った運動を展開していきます。

平成 21 年 12 月 18 日

厚生労働大臣 長妻 昭 殿

【 要 望 書 】

「介護職員待遇改善交付金」および「緊急雇用対策」について

介護保険を持続・発展させる 1000 万人の輪
共同代表 樋口 恵子
白澤 政和
高見 国生

介護職員処遇改善交付金について

この交付金については、緊急経済対策を目的とした一方策としては、交付の対象が限定的である等の問題をもつものの、一定の評価ができる。

しかしながら、平成 21 年 4 月からの介護報酬改定が 3%で事業者の体質改善にも従事者の処遇改善にも不十分で、緊急経済対策を目的とするとはいえチームケアを推進しつつ、処遇改善を図る必要性からすれば、この交付金の対象は介護職員に限定するべきではなかったと考える。したがって、介護保険制度の観点で問題のある交付金が制度への反映なしに 2 年半にわたり

継続されようとしていること、 交付期間終了後の平成 24 年以降の制度に裏付けられた保証がないこと、 法人の給与体系を維持するためには、多くの事業者が介護職員以外への給与を自らの負担増で対応することが必要で、この負担に耐えられないため交付金申請をしない事業所のあることなどの現状を鑑み、介護保険の持続・発展を図るために次に示す問題点につき至急対策を講じることを要求するものである。

- ・ 平成 24 年度の介護報酬改定を待たずに介護報酬を改定して制度の継続性を図るか、基金を積み増して交付金の対象者を介護保険サービス従事者全体に広げ、継続性を担保すること。
- ・ キャリアパスの導入は必要だが、交付金事業においてはその導入を要件としないこと。
- ・ 交付金の申請手続きのみならず、報告書類の作成が煩瑣にならないように配慮すること。
- ・ 4 万円の報酬アップの政策について、日程表、方法等を明らかにし実行すること。報酬アップに伴う利用者負担増を避けること

介護予防事業（地域支援事業の一部）について

先の行政刷新会議「事業仕分け」（11 月 17 日）において、介護予防事業（地域支援事業の一部）の予算縮減が求められた。この予算の原資は、介護保険の 3 % が充てられており、予算執行率が低いからといって、介護以外の事業に用いられることは介護保険制度に反することである。これらの縮減額は、介護予防事業以外のサービス等が不足している介護関連事業に充てるべきである。

緊急雇用対策について

介護職への参入経路を広げる対策は評価する。自治体、NPO 等が施策をなお一層推進するよう周知徹底されたい。ただし、研修、就労斡旋等に際しては、質の低下が生じないよう必要な配慮を怠らないようにされたい。

以上

介護保険を持続・発展させる 1000 万人の輪 事務局
（委託先）： 特定非営利活動法人市民福祉団体全国協議会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 1F
Tel: 03-6809-1091 Fax: 03-6809-1093
【 e-mail 】 kaigo@1000man-wa.net
【 HomePage 】 <http://1000man-wa.net>
担当：福原 秀一（fukuhara@seniornet.ne.jp）

「介護保険を持続・発展させる 1000 万人の輪」【 3 つのビジョン、5 つ星の行動目標 】

「介護保険を持続・発展させる 1000 万人の輪」では、市民・利用者/家族・事業者・介護従事

者・学識経験者・行政担当者などが一体となって、介護保険をよくするために、介護を社会の柱に据えるために、【3つのビジョンと5つ星の行動目標】を持って活動を展開していく所存である。

多くの皆様がこの活動に参加し、ともに行動していただけることを期待している。

介護保険をよくするために

介護を社会の柱に据えるために

3つのビジョン 5つ星の行動目標

3つのビジョン

1. 介護保険は人生 100 年のセーフティネット。機能強化をすすめよう。
2. 介護保険から始めよう、地方分権・参画型デモクラシー
3. 地球まるごと高齢化時代。人間の命を守る介護の質を高め超高齢国日本から世界に発信しよう。

5つ星の行動目標

1. わかりやすくシンプルな制度に

利用者である高齢者が理解し、自ら選択できる制度に。現状は複雑すぎます。

2. 利用者・市民の声が反映できる仕組みを明確に

「1000 万人の輪」では現場の声をもとに研究をすすめ提言します。当事者の思いがつねに伝わり、反映できる制度を求めます。

3. ひとりぐらし、低所得者、老老、認認介護の増加。利用者側の変化に応じた切れ目ないサービス提供と費用負担

日本の人口構造・世帯構造は急変しています。変化に対応したサービスと費用負担のあり方が必要です。介護格差をひろげてはなりません。

4. 良質な介護人材の確保と介護職の地位向上、専門職間の連携強化

介護はあくまでも人間が人間に対する営みです。介護する人が幸せでなければ介護される人も幸せにはなりません。

5. 介護を軸とした新しい地域の創生

自助・協助・公助、医療と福祉の連携、企業の協力、学校などの社会資源を活用し、世代間交流をすすめ、あらゆる世代のしあわせを支える地域ルネッサンス。

おもいやり支援センターくまの グリーンコープ たすけあい佐賀 全労済
宅老所を全国に広める会